

〔様式 1〕

事務事業評価表

1～11までは、担当課による評価

記入年月日	平成15年5月1日			
平成15年度	事業コード	35210	電話	042-769-8236
担当部課名	経済部	商業観光	課	観光振興 班
事務事業名	橋本七夕まつり			

1 総合計画における位置づけ

政策名	第5章	輝き魅力あるまちづくりを進めます	事業開始年度
基本施策名	第2節	観光の振興と余暇対策の推進	63以前年度
施策名	第1施策	魅力ある観光資源の整備と情報発信	

2 実施根拠及び関連法令等

なし

3 事務の区分

自治事務

4 経費の区分

投資的経費

5 事務事業の分類

市単独事業

6 受益者負担

なし

7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか	(2)対象(誰、何)
相模原市の五大観光行事の一つである橋本七夕まつりを支援することにより、地域の活性化、連帯感や市民の郷土意識を高めるとともに、市民、来場者に対して「61万人都市 相模原市」をPRして行く。	市民、市外在住者
	対象数 430,000人
(3)平成14年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容	
橋本七夕まつりに対して助成を行なった。(補助金額 7,800千円) (開催概要) 名称 橋本七夕まつり 開催日 平成14年8月8日(金)・9日(土)・10日(日) 会場 橋本七夕通り・南口商店街特設会場・東橋本商店会特設会場ほか 内容 竹飾りの掲出・各種行事 観客 約43万人(延べ) 事業費 約1,450万円	
(4)個別計画の概要	概要
計画名 相模原市観光振興計画	都市の魅力づくりにつながる新しい地域文化を創出するなど、都市型観光の創造を目指し、61万人都市「相模原」のPRを進める。
計画年次 14年度～18年度	

8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

15,16年度は目標値

成果指標	指標名	指標式	指標設定の意図	指標の推移(年度)				
				12	13	14	15	16
	補助率	補助金合計/実行委員会決算額合計×100	決算額に対し、補助金の割合を検討するため	47	49	54	45	45
	来場者1人あたりの補助金の支出割合	補助金額/来場者 来場者は平成12年度は34万人・平成13年度は38万人・平成14～16年度43万人として算出した。	市民対象の事業であるため、誰でもまつりを楽しむことができると考え、補助金額を検討するため	24	25	18	18	18

9 事業費等の年度別状況

〔金額単位：千円〕

事業費	項目	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
		決算	決算	決算	予算	予算(見込み)
	決算(予算)額	17,230	19,491	14,508	13,200	13,200
	人員・時間数	1.0人	1.0人	1.0人	1.0人	1.0人
	人件費	8,390	8,390	8,390	8,390	8,390
	その他経費	0	0	0	0	0
	合計	25,620	27,881	22,898	21,590	21,590
	特定財源	0	0	0	0	0
	対象数	380,000	410,000	430,000	430,000	430,000
	対象の単位あたり経費	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1

10 個別評価

(1)達成度 評価 B ▼	A：達成している	チェック項目	・成果指標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	B：一部達成していない		・活動指標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	C：達成していない		・事業目標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
		説明	実行委員会の自主財源確保への取り組み、来場者の反応や来場者数の増加などから見て、概ね達成していると考察される。
(2)必要性 評価 A ▼	A：適応している	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっている
	B：一部適応していない		<input checked="" type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している
	C：適応していない		<input type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない
		説明	<input type="checkbox"/> ・国、県、民間、市民との役割分担から見て、市が事業を行う必要がある 市民のニーズや社会の変化に伴い、期間の変更や会場の変更など随時行なっている。また、内容についても伝統あるものを継承しつつ新しいものに変更している。
(3)有効性 評価 A ▼	A：有効である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である
	B：一部有効でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている
	C：有効ではない		
		説明	県内外からの来場やイベント紹介などのマスコミ対応など、61万人都市をPRしていく上で有効である。
(4)効率性 評価 B ▼	A：優れている	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている
	B：一部改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている
	C：改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている
		説明	<input type="checkbox"/> ・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない 来年度から、補助率50%以下を目標とする。また、補助金額を定める根拠がないから、補助の方針を定める必要がある。
(5)公平性 評価 A ▼	A：公平である	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である
	B：一部公平でない		<input type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である
	C：公平でない		<input type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)
		説明	市民対象の事業であるため、公平であると考えられる。
成果向上の余地		事業費削減のために取り得る手段と削減額	
<input checked="" type="checkbox"/> ある	説明： 事業に占める補助金への依存が高く、五大観光行事への方針を定めて、補助金の適正化を図るとともに、実行委員会による自主財源の確保を促していくことが必要である。	手段	今後、健全な事業経費の確保を図るため、自主財源の確保に努めるとともに、地元の自治会等組織の協力による事業経費の見直しを進めており、現状での補助金の削減は難しい。
<input type="checkbox"/> ない		削減額	千円

11 総合評価

評価	AA ▼	他自治体の類似事業との比較
今後の進め方		
<input type="checkbox"/>	継続	
<input checked="" type="checkbox"/>	見直し	総合評価に関する説明
<input type="checkbox"/>	廃止	相模原市の都市型観光の魅力づくりとして、伝統ある五大観光行事(橋本七夕まつり)を保存、継承していくとともに、地域経済の発展と活性化を図る必要がある。事業規模(期間、エリア、交通規制等)も大きく、経費もかかるため、補助金、協賛金への依存は高く、今後、検討を進める五大観光行事への補助の方針、補助金の適正化とともに、自主財源の確保、地元関係団体の参画による実行委員会組織の強化、事業経費の見直しにより健全な事業経費の確保を図る必要がある。
<input type="checkbox"/>	完了・廃止済	

12 二次評価コメント

主体の全面的移管と自主財源の確保・拡充に努めること
